

## 平成29年度第1回福光地域審議会会議録

1. 開催日時 平成29年10月26日（木）午前9時00分～11時00分
  2. 開催場所 福光庁舎402会議室
  3. 出席委員 13名 池田恵里子、上坂甚誠、蟹野正男、川合声一、齊藤勇一、高島克美、東田喜代志、豊田正規、中村三郎、中山正次、西井満年、西村信二、湯淺 武
  - 欠席委員 2名 石崎直樹、得能金市
  4. 市側出席者 田中市長、齊藤市長政策部長、吉澤市民協働部長、上口市長政策部担当部長、市川南砺で暮らしません課長、石崎行革・施設管理課長、鵜野福光行政センター長、山田秘書係長、山下行革推進係長、野村行革・施設管理課副主幹、福光行政センター金山次長・釜本主査
  5. 傍聴者 7名
  6. 協議議題 庁舎機能再編について
  7. 会議経過
- 開会 （事務局 行政センター長から開会の宣言を行う）  
センター長から欠席の委員の報告
  - 委嘱書交付
  - 会長・副会長選出
  - 蟹野会長挨拶
  - 田中市長挨拶
  - 協 議 （会長が議長となり、議事を進める）

（議 長）議題 庁舎機能再編について説明を求める。

（上口担当部長）資料に基づき説明

（議 長）議題について出席委員全員に意見と質疑を求める。

（委 員）庁舎の再編ということで、私も会社を経営しているので、機能を統合するというのは本当に大事だと思う。分庁舎だと皆さん感じておられると思うが、打合せにかかる移動とか、日々の無駄な時間が蓄積し、大きな無駄というか、コストが掛かっていると思う。機能を統合するということは、建物の話だけでなく、シンクタンクとして市の政策について、スピード感を持った対応をするのが、市庁舎のあり方だと思う。コストの問題だが、税収は人口減と共に減っていくわけで、コストを掛けないのは当たり前だと思う。

各地域の行政センターは住民サービスセンターとしての役割が非常に重要であり、その地域に精通した方をお願いしたい。ワンストップの住民サービスが出来るように、各行政センターの体制、機能を充実させて頂きたい。例えば、何か証明書が必要で、その為に写真がある場合、その場で用意出来、話を聞きながら手続きが出来るように、住民サービス機能を充実させて欲しい。各部門が一緒にスピード感をもって政策を遂行するという、福光庁舎の建物の機能を活かせるよう、この方向で行けば良いと思う。

(委員) 質問が4点ある。1つ目は福光庁舎を統合庁舎として進めていくという話はすばらしい考えであり、この方向で進めて欲しい。2つ目は将来、庁舎が古くなった場合、建替えるのか、2つを1つにするのか、どのような考えか聞かせて欲しい。3つ目は庁舎再編後、空き地が出たら市の事業として活用していくのか、民間に売却して活力ある事業を南砺市に呼び寄せるのか、聞かせて欲しい。4点目は駐車場には広い用地が必要であり、立体駐車場を考えたことはあるか。また、自動交付機はどうなったかについても聞きたい。

(市長) 市民の皆さん総じて理解を得ることが大事なので、議会の要望にもあったように、不用となる分庁舎の活用、庁舎から遠くなる地域のまちづくりをしっかり考え、理解を得ながら進めていきたい。行政センターについては、現段階では行政センター機能は残すという考えであり、今の庁舎が空いたけど、行政センターだけ残すというのではなく、スーパーマーケットなど場所を変えたり、臨機応変に地域の意見を聞いて、駐車場のことも含めて、対応していきたい。自動交付機は10年前から4つの庁舎に入っていたが、コストが掛かり、機械なので古くなり、現在は全て無くなっている。今は窓口交付とコンビニ交付のみになっている。コンビニ交付が増えるようPRをしていきたい。跡地については、地元の皆さんと検討させていただくのは当然だが、行政と民間の活用も含めた検討になっていくと思う。他の場所に機能を集約した方が良いという議論になった場合、空いた所を民間でどう使ってもらおうか、選択肢を大きく広げていきたい。だが、まずは地元の皆さんにアイデアを出して頂いて、どういうものを作って行くかを最初に検討していきたい。個人的に立体駐車場も考えてみたが、今のところは面の面積しか見ていない。ただし、全員が車で来るのが当たり前になっているが、なるべく職員も公共交通を使うようにして、335台という面積が半分くらいにならないかと思っている。不足分の用地を取得できるか、コスト面からも立体にするか考えていきたい。

(委員) 合併後、分庁舎において各部の業務が遂行されてきたが、私達は仕事の面でもいろんな面でも一つの庁舎にすべきだ、ということはおかねてから思っ

いた。福野・福光2庁舎案という話も出てきているが、福光1庁舎に向けて前向きな考えで進めて頂きたい。

(委員) 資料にコスト面ばかりで考えても駄目だとあるが、今後、少子高齢化が進むこともあり、子供、孫に係る負担を出来るだけ抑えて、進めて頂きたい。2庁舎問題が出てきているが、2庁舎にしてもまた、3年後、5年後に同じ議論が出てくるのではないかと危惧されるので、1庁舎で進めて頂きたい。その後、旧庁舎は地元の利便性・利用度の高い活用を考えて頂きたい。

(委員) 私も基本的に市長の意見、方針について異論はない。福光1庁舎でいくことに賛成。地域エゴで言うのではなく、第三者的に見てもこの考えで行くのが正しいと思う。質問だが、福光1庁舎にすることの弱点として、小矢部川の水害について言われているが、福光庁舎の災害について具体的に弱点はあるのか？

(市長) 水防法の改正があり、何百年に一度という水害にも対応出来るように考え行かなければならなくなった。川の淵だから、危ないというのではなく、災害が起きても市民の皆さんが命を落とすことなく、避難出来るように考えていくことが使命だ。防災センターは少し離れた所に整備するなど、また、あらゆる点を想定して対策本部を離れたところに置いたりして訓練を行なっている。何が起きても市民の皆さんの安全を守るのが大事である。河川の堤防工事も終わっており、新しい防災危機拠点を作り、全てカバーしていくと説明している。業務をきちんと遂行出来るような計画を今作成している。

(委員) 防災に対する危惧の反論はマスコミには載っていない。一般市民が知ることが出来ないのも、機会があれば伝えて欲しい。また、福光地域の人間として心しないといけなは、庁舎を福光に持ってくるとして、福光地域の方は意見はきちんとすべきだが、奢った気持ちは控えた方が良くと思う。お互いに南砺市として心を一つにしていけたらと思う。

(委員) 先程から庁舎機能の再編についての考え方を聞かせていただき、防災面などを心配していたが、今の説明を聞いて、福光庁舎1庁舎へ統合、という考えが実行されるよう進められればと思っている。私の意見としては、先程皆さんが言われた意見と同じで、この後もこの方向で行って欲しい。

(委員) 庁舎について、議会の総意として一箇所に纏めた方が良くというのは正しいと思うし、そうあるべきだと思う。時期についても、市長さんの考え通り進んで頂ければと思う。企業でも家庭でも同じだがコストを優先して、子供や孫

に負担が掛からないようにして頂きたい。

(委員) 一年ほど前に反対している地区の振興会長さんと話す機会があり、理屈で言うと、何も向こうは言うことが無くなるが、それでも「いやだ」という感じで、これは簡単ではないと思った。活気あるまちづくりをするためには、都市間交流が大事であり、金沢市と隣り合っている福光という利点を活かし、福光庁舎を活用されるのは大賛成である。心情的に反対する人達は、合併して良かったかということ、あんまり良く感じていないようだが、合併前の合併協議会では皆で良い地域を作ろうという気持ちはあった。どういう経緯で福光1庁舎にする案になったかを十分説明して、皆が納得出来るようにして頂きたい。

(委員) 自治振興会連合会の場で、福光の委員が福光に統合庁舎を持って来い、とは言えないので他の地域の委員が言ったことが、新聞に載ってしまう。全地域の住民が多少の不満はあっても、納得できる結論でなくてはならないと思っている。水防の件で、福光は危険だということだが、行政で堤防を高くするなどしており問題ない、ということや、統合庁舎について各地域で話し合い、城端、五箇三村地域、井口は福光庁舎でいく方向であるし、また、議会での結論も福光1庁舎である。市当局から議論の経緯を解りやすく説明すれば、市民の方も納得していただけるのではないかと思う。

(委員) 市議会の総意も出ているので、自信を持って、出来るだけ早くこの南砺市が「新生南砺市」になるように事業を進めてほしい。私の地区では使われなくなった旧保育園を活用する為に、6年間話合った。その中でいろいろな意見が出て、議論したことで地区の絆が深まったので、そのプロセスを大事にしたい。今回の事業も、良いところを取り上げて、話し合いの中で絆を大切にしたい。

(委員) 私も福光1庁舎案に大賛成。南砺中央病院を庁舎に、という話もあったが、災害時に大事なものは病院であり、市庁舎にという話はない。福光1庁舎案で一番良いところはコストが少なくて済む、というところであり、最後はコストだと思う。一番新しい庁舎であるということも含めて、一番良いと思うので、この案で進めて行って欲しい。

(委員) 財政・コストの面から非常に福光庁舎が良い、という具体的な資料も大変整っており、納得出来る。他の地域から出てきた問題、災害面でも、福光庁舎で大丈夫だという話を聞いて、心強く思っている。2庁舎案が出ているが、結局、また問題がぶり返すと思うので、最初から1庁舎案で進められるようお願いしたい。

(議長) 皆さんの意見を聞かせていただき、コスト面、まちづくり面、防災面等々、総合的に考えて、全会一致で、福光1庁舎案で意見が纏まった。私達を選んだ議会の皆さん、市長さんが論議され、考え抜かれた結論がこの提案書であり、要望書であり、それを受けての福光1庁舎だと思っているので、進めて頂きたい。

(市長) 一人でも多くの理解者を増やすため、いろんな地域で話し合いをして、それぞれの地域の課題・未来・将来が語れるような土台を作って、福光1庁舎案を進めていきたいと思っている。低コスト・高サービスという行政センターの在り方についても同時に検討しており、ワンストップで、住民の皆さんの利便性を高めていくためにも、1庁舎で進めていきたい。病院の話だが、病院は補助金と起債で作った建物で、使用目的を変えるだけで、40億円かかる。病院改革プランでは当分、両病院は必要だと出ているので、病院を庁舎に使うことは考えられない。

○その他 南砺市型小規模多機能自治の推進について

(議長) 状況報告を求める。

(吉澤市民協働部長) 資料に基づき説明

(議長) 委員に意見と質疑を求める。

(委員) 自治振興会などで、若い人、女性の意見が反映されないと言っているが、何歳ぐらいまでを若い世代というのか。

(吉澤市民協働部長) 的確な答にならないと思うが、今年、出前市長室で、若者世代、高校生世代、子育て世代と意見を聞く機会があった。地区の会合などでは、一家から一人が参加して、家族に話が伝わらないといったことがあるかと思う。一世帯一人ではなく、家族全員が地域の活動に参加していくことで、発言し易くなる。若者世代では30代～40代前半の方に発言をしてもらった。

(議長) 少子高齢化の中で、これからの自治会・自治組織のあり方が問われている時代であり、自治会も改革していかないといけない。早急には出来ないと思うので、近づけるようにその都度、市と連携・協力してやっていきたいと思っている。

(委員) 市庁舎の統合について具体的に話して頂き、コスト面等、非常に解り

易い、誰もが納得できる客観的な資料だと思う。ほかの地域の方のいろいろな意見に対して市の方から客観的な資料を出し、皆さんに解る様に丁寧に説明して進めて頂きたい。出された問題に対して、答だけでなく、市庁舎を福光にすることに、どのような重要なポイントがあるのか、地域エゴではなく、福光庁舎の良さを客観的に示して頂いて、他地域の皆さんにも納得して、理解して頂けるようお願いしたい。

○ 閉会                   (事務局 行政センター長から閉会の宣言を行う)